

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 富塚中 ）学校運営協議会長

<本年度の目標>

富塚の地域性と現状に生きる生徒の成長に合わせたコミュニティ・スクールを目指し、学校、家庭、地域が共に成長できるようにビジョンをもっと広く共有する。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校との情報の共有がしっかりと出来ており、生徒を主体とした十分な熟議ができていた。
- 富塚中のキャリア教育目標・4つの力について内容を理解し、各委員がそれぞれの立場から建設的な意見を述べることができた。
- 富塚中の校訓、学校教育目標、目指す学校像に基づき、学校の実態、実情、抱えている課題の説明により、それぞれ委員間の認識が共有できた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校側からの積極的な取組説明、委員からの報告やグループ協議等での意見交換により、学校支援活動について理解が深まり、熟議を円滑に進めることができた。
- 子どもの進路について、キャリア教育を意識し、更に一步踏み込んだ職業選びに繋がるような指導を、地域の豊富な人材を活かしてできないか支援策について熟議した。
- 学校運営の基本方針で熟議したことにより、学校支援活動「富中でよかった」への提案に繋がり、地域活動への投げかけ方法の模索等ができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 地域団体の特色を活かし、連合連絡会等での協力者への発信を行った。
- 学校便り、ホームページで協議結果につて公開しているが、支援活動をより活発になるよう地域や保護者へ情報を発信していく。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- コミスクとして学校運営に具体的な補助ができるか議論を重ね、一步先の支援を企画実行しキャリア教育の更なる充実を図る。
- 来年度も休日部活動の地域移行について、学校と地域で意見交換しながら方向性を共有したい。
- 協議結果を元に、学校支援コーディネーターとして学校のニーズに応じた地域人材を発掘し、支援体制の更なる充実を図りたい。
- 今年度以上に学校や地域、家庭等が役割分担をしながら地域ネットワークを進め、富塚の地域性を生かした学校への支援活動を継続推進する。

上記の意見を踏まえ、今年度の目標を以下のものとする。

- 学校、家庭、地域が一体となって目標・課題を共有し、共に成長できる未来を創る。
- 富塚の地域性を生かした学校運営の実現に向け、持続可能な協働体制を目指す。